

HMD 土質試験解析ソフト
電子納品
取扱い説明書

2011年07月01日

お問い合わせ

HMD解析ソフト電子納品取説

データ加工/アプリ/センサー/ソフト/計測システム/試験機/他



株式会社 濱田電機

TEL (042) 473-4041

FAX (042) 472-0089

Home Page <http://www.hmd-dk.jp>

営業所/〒203-0013 東京都東久留米市新川町2-4-5 メモリーマンション1F



<HMD管理>

このソフトでは、電子納品を行う為に必要となる情報の管理を行います。概略以下の情報を与えます。

1. 環境設定
2. 調査件名によるファイル作成
3. 試料一覧 (ボーリング情報、試料情報、試験情報)

ここで与えられる次の情報が各試験の情報と**合致する事**で必要な情報が取り出されます。

1. **調査件名**
2. **ボーリング番号** (各力学試験)、**ボーリング名** (土質試験一覧表)
3. **試料番号**

「**第1ステップ**」 初めて使用する場合に、”環境設定”を行います。続けて、”新規”で新しい調査データを作ります。追加も同様です。

試験情報管理 (HMD管理)

環境設定、最初に設定します

環境設定

データファイル
C:\(株)沼田電機\HMD管理\hmd-kari.mdb

出力フォルダ
C:\(株)沼田電機\HMD管理\hmd-kari\data-OTD00

既定値の決定
調査業者名: (株)沼田電機
整理担当者: (株)沼田電機

新規

管理情報ファイル (.mdb) を指定します。
電子納品ファイルの出力先を指定します。
調査業者名、整理担当者を入力します。

新規で、新しい調査データを作成します

新規

整理番号:

調査件名:

発注機関:

調査業者名: (株)沼田電機

整理担当者: (株)沼田電機

発注日: 2010/07/27 09:37

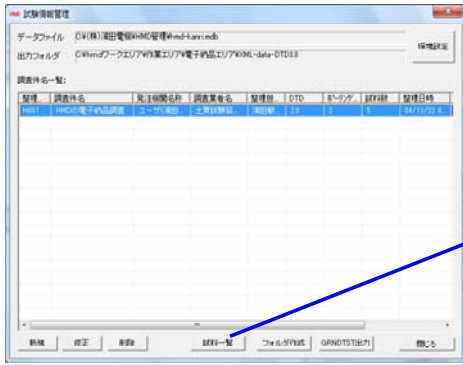
メモ:

OTDバージョン: 1.10

整理番号の入力 (このソフトで使用)
調査件名、発注機関の入力
調査業者、担当者は、”環境設定”から、
整理日時は、作成日時で自動取込されます
メモの入力
” DTDバージョン” のチェック

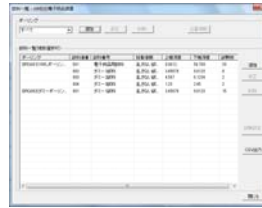
- 「第2ステップ」 ” 試料一覧” から調査データのボーリング情報を作ります。
 ” 新規” で新しいボーリング情報、位置情報を作ります。

試験情報管理



調査件名一覧から選択

試料一覧

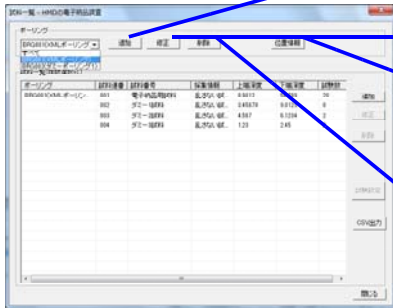


新規



ボーリング番号の入力(半角数字)
 ボーリング名を入力
 メモの入力

試料一覧



修正



選択ボーリング番号が
 削除されます

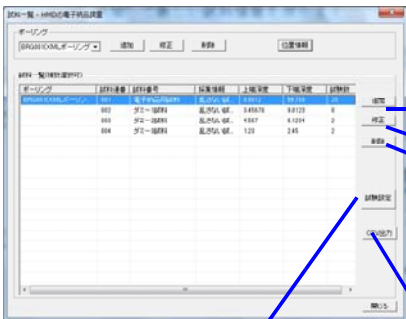
位置情報設定



地点名を入力
 経度、緯度の入力
 (半角数字)
 経緯度読取方法、精度、
 測地系の選択、説明入力
 標高の入力(半角数字)
 ローカル座標号の入力
 (半角数字)
 コメントの入力

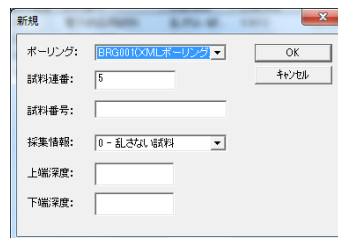
- 「第3ステップ」 ” ボーリング” から調査データの試料情報を作ります。
 ” 追加” で新しい試料情報を作ります。

追加、削除、修正したいボーリング名を選択



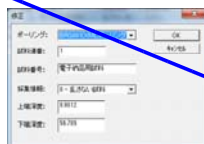
ボーリング名一覧
 から試料を選択

新規



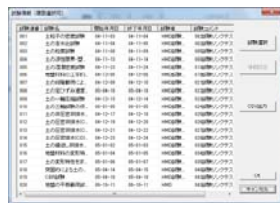
ボーリング名の表示
 試料連番の入力(半角数字)
 試料番号の入力
 採取情報の選択
 上端、下端深度の入力

修正

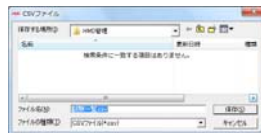


選択された試料番号が削除されます

試験情報 (複数選択可)

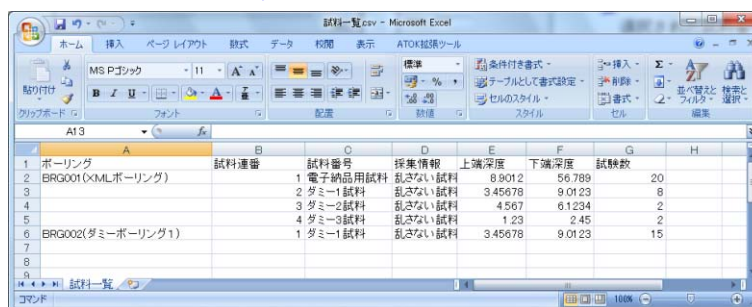


試料一覧ファイル出力



選択された調査件名で作成されるボーリング情報、
 試料番号、試料情報及び試験数が確認出来ます

試料一覧ファイル内容 (csvエクセルファイル)

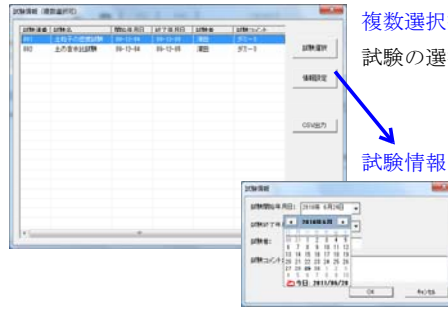
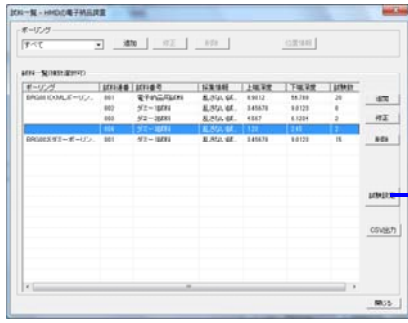


「第4ステップ」 ” 試験番号” から調査データの試験情報を作ります。
 ” 追加” で新しい試験情報を作ります。

追加、削除、修正したいボーリング名の試験番号を選択

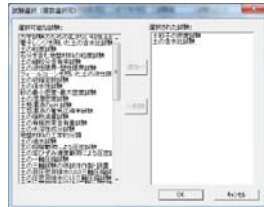
試験情報（複数選択可）

複数選択時は、全て同一内容になる
 複数選択操作は、” Ctrl” +マウス
 試験の選択をします

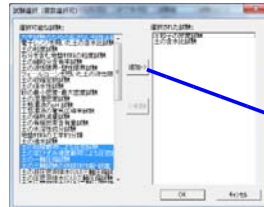


試験開始、終了日時の選択
 試験者の入力
 コメントの入力

試験情報（複数選択可）



試験数を追加
 する場合



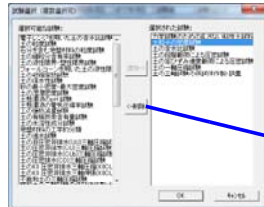
必要な試験の
 選択後” 追加”



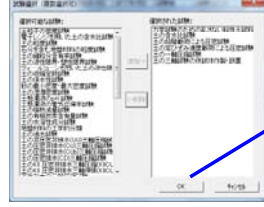
”OK”で
 完了

複数選択操作は、” Ctrl” +マウス

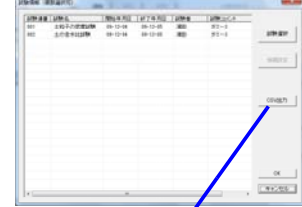
試験情報（複数選択可）



試験数を削除
 する場合
 不要な試験の
 選択後” 削除”

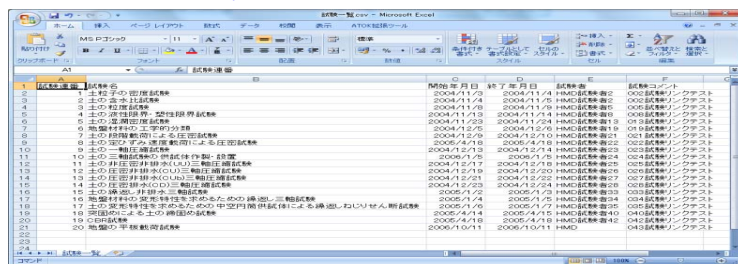


”OK”で完了

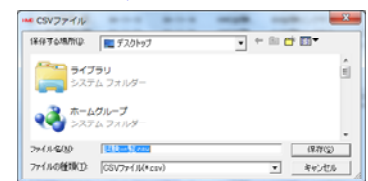


複数選択操作は、” Ctrl” +マウス

試験一覧ファイル内容（c s v エクセルファイル）



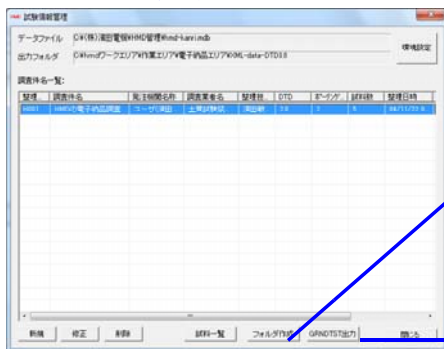
試験一覧ファイル出力



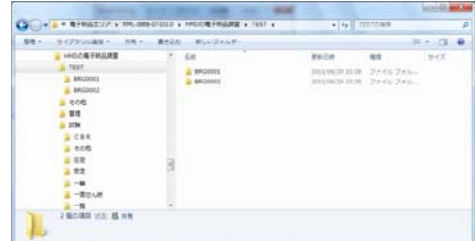
選択された試験番号で作成される試験情報、
 が確認出来ます

「第5ステップ」 選択された” 調査件名” から電子納品用フォルダーを作ります。
 ” GRNDTST出力” ボタンで作られた” TEST” フォルダーに、
 ” GRNDTST.XML” ファイルを書き出します。

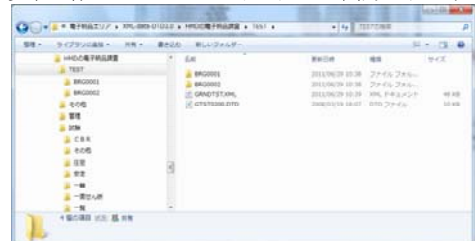
試験情報管理



以下の様に調査件名でフォルダーが作成されます

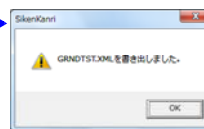


以下の様に ” TEST” フォルダーに出力されます



以下の手順で、フォルダーファイルを書き出します

1. 調査件名一覧から対象調査件名を選択
2. **フォルダー作成**ボタンで作成
3. **GRNDTST出力**ボタンで出力



<土質試験一覧表(物理試験)>

このソフトでは、密度試験／含水比試験／粒度試験／液性・塑性限界試験／湿潤密度試験及び一覧表／地盤材料の工学的分類出力が出来ます。

電子納品を行う為に必要となる情報を与えます。

HMD管理で与えられた次の情報と**合致する事**で必要な情報が管理から取り出されます。

1. 調査件名
2. ボーリング名 (ここでは、グループ名となります)
3. 試料番号

「概略の使用方法」

1. ”調査件の選択”画面で**新規調査件名登録**を行います。**調査件名**を入力します。
指定されたフォルダーに、ファイルが作成されます。
整理番号.ytlと整理番号.HADの2個のファイルです。
2. 必要ならば、**試験者名**の登録を行います。
3. ”土質試験結果一覧”画面で、**試料番号**の追加を行います。
ここで、全ての**試料番号**の追加を行うことも出来ます。
4. 必要ならば、**容器質量**、**ピクノメーターの登録**、**浮標の登録**で各登録を行います。
尚、これらは、ファイル保存又はインポート出来ます。
5. 必要ならば、**入力方法の設定**で容器No、ピクノメーターNoの入力方法を選択します。
6. 必要な試験のデータを入力します。
7. 出力シートをグループ単位又は試験項目単位で出力したい場合は、グループ管理でグループ名を付け、必要な試料番号を割り当てます。試料番号は、幾つかのグループにまたがる事が出来ます。
8. 電子納品では、**グループ管理**で付ける**グループ名**がボーリング名となります。
9. 電子納品では、同様に、このグループに必要な**試料番号**を、HMD管理で作成された順序で割り当てます。この場合は、上記6.項と異なり、重複はしません。
10. 出力グループは、シート出力する場合及び電子納品の出力に使用されます。
出力グループの選択で選択します。
11. 最後に、必要な場合は、保存して閉じます。

容器(yoki.csv)、ピクノメーター(pikuno.csv)、浮標(fuhyo.csv)、土質材料分類名(Bunrui.csv)は、()内の固定のファイル名として実行ファイルと同じフォルダーにおかれます。これらのファイルを使用する試験は、その後の変更、修正でファイル内容が変わった場合、以前の出力結果と異なる事になります。その対策として、これらのファイルを修正年度別フォルダーを作り、試験データと共にそこにコピーしておきます。以前のデータを出力する場合は、現在使用中のファイルを待避させ、必要なファイルをその修正年度別フォルダーからコピーします。

<1. 項の操作>

土質試験結果一覧表・調査件の選択

The screenshot shows the '土質試験結果一覧表(ver10.0) - 調査件の選択' window. The main table lists survey items with columns for '整理番号' (Serial No.), '調査件名' (Survey Item Name), '整理担当者' (Manager), 'ファイル名前' (File Name Prefix), 'バージョン' (Version), and '整理日時' (Date/Time). A '新規登録(N)' button is at the bottom left. A '新規調査件名登録' dialog box is open, showing input fields for '整理番号' (with example '0123'), '調査件名', and '整理担当者', along with 'OK' and 'キャンセル' buttons. Blue arrows point from the dialog box to the main window's folder path and table, and from the main window's '新規登録(N)' button to the dialog box.

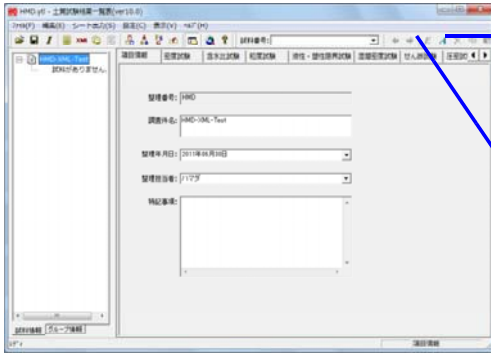
調査データファイルが保存されているフォルダーです
調査データファイルが示されます

新規調査件名登録

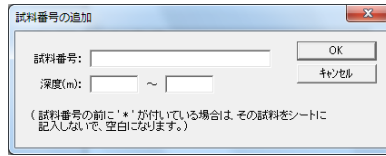
調査件名の入力

< 3. 項の操作 >

新規のファイルの場合



試験番号の追加

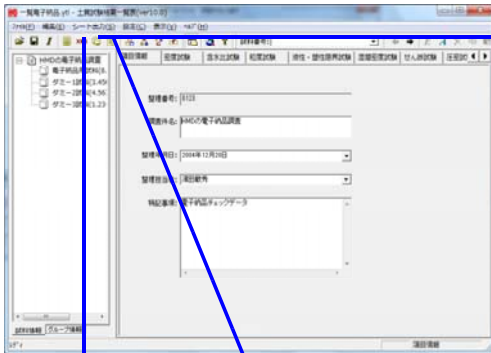


試験番号の入力

試験番号を削除する事が出来ます

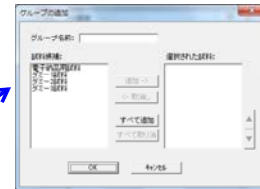
< 8. 項の操作 >

< 9. 項の操作 >



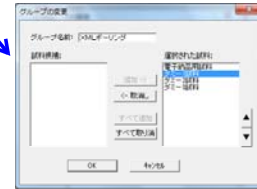
グループの管理

グループ名を入力



試験番号
を選択

変更



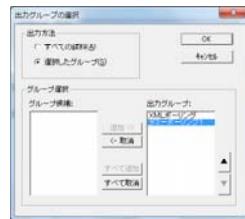
グループを削除する
事が出来ます

グループ毎に 各試験単位の試験者・試験時間が設定出来ます

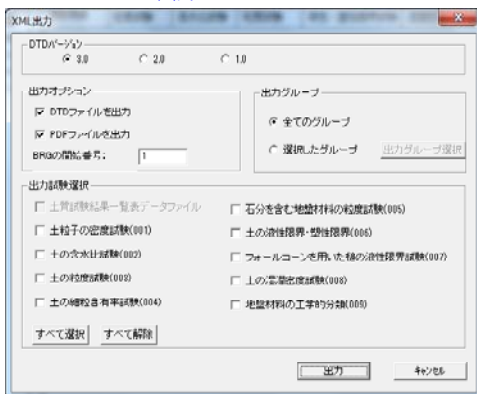
但し、電子納品では、HMD管理からの情報で出力されます

出力
された
グループのみシート
出力されます

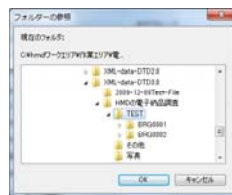
出力グループの選択



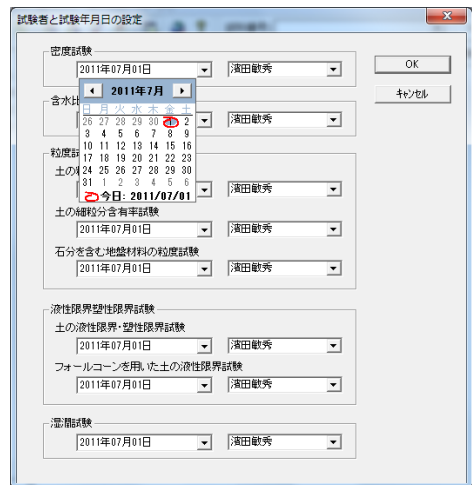
XML出力



HMD管理とリンクされている場合は、出力グループ”全て”出力試験選択は、チェック無し基本的に、BRGの開始番号=1

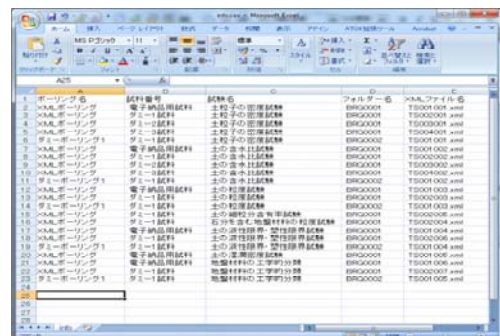
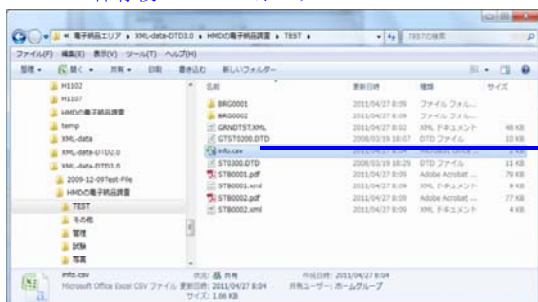


HMD管理の出力フォルダの¥TESTフォルダが保存先として示されます



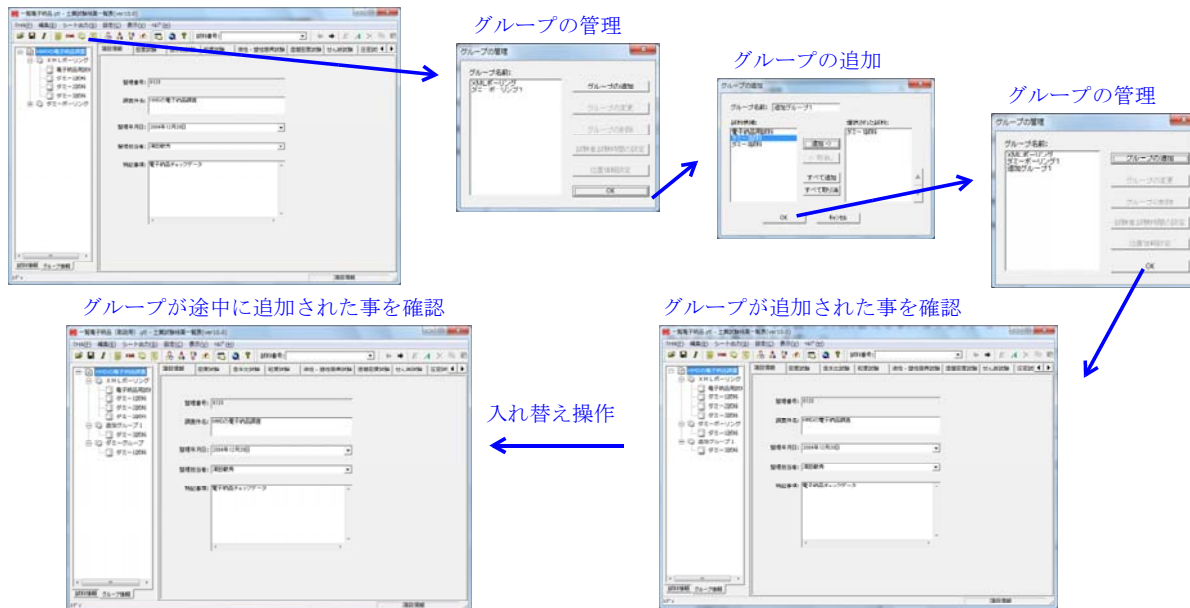
"info.csv"エクセルファイルは、作成されたXML明細です

保存後の¥TESTフォルダ



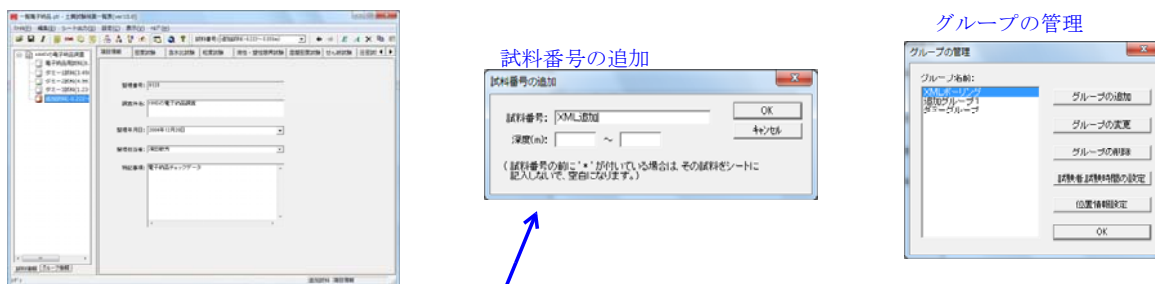
<グループ、試料番号追加の操作>

グループの追加は、基本的には後ろに追加します。途中で追加したい場合は、グループ名を変更して、試料番号を含めて入れ替える事になります。この場合、”試験者・試験時間”を再設定する事になります。

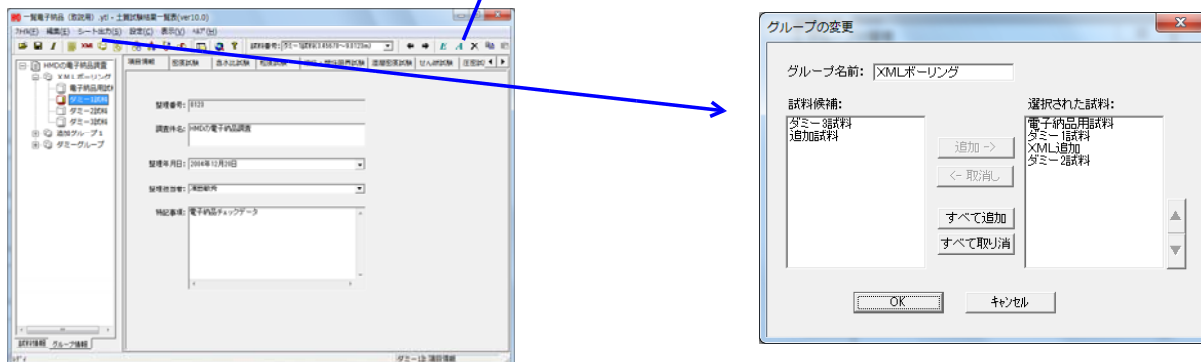


試料番号の追加は、基本的には後ろに追加します。途中で追加したい場合は、影響を受けるグループ以降の試料番号設定が必要となります。

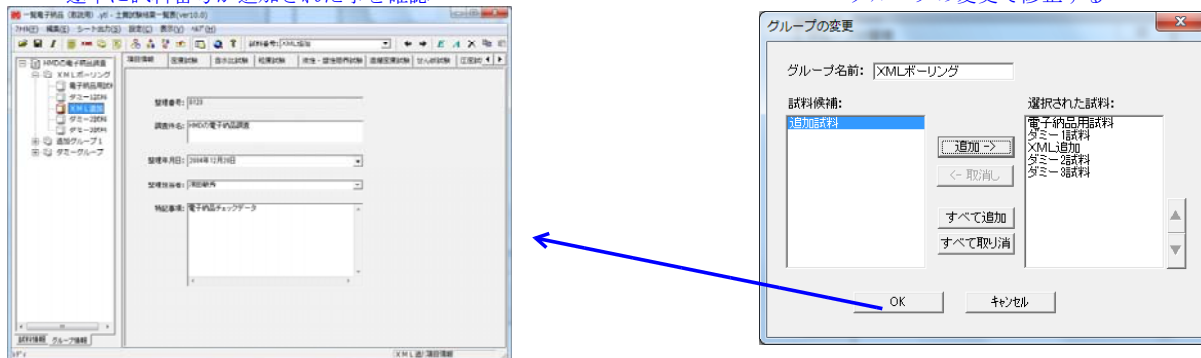
最後に追加の場合



途中で追加の場合



途中で試料番号が追加された事を確認



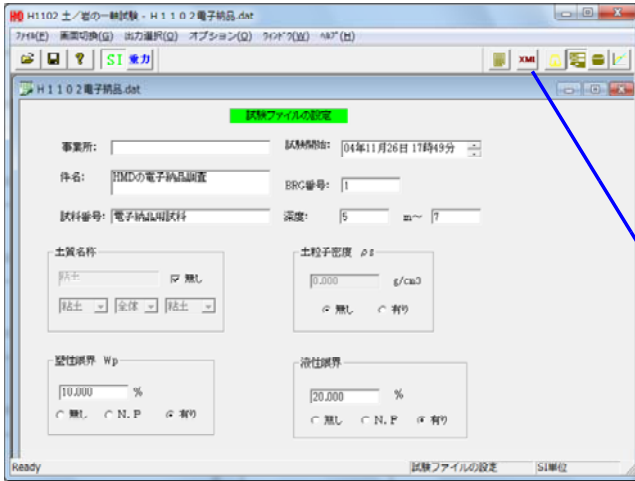
<土質力学試験>

電子納品を行う為に必要となる情報を与えます。
HMD管理で与えられた次の情報と**合致する事**に必要な情報が管理から取り出されます。

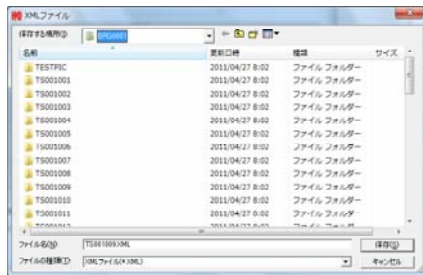
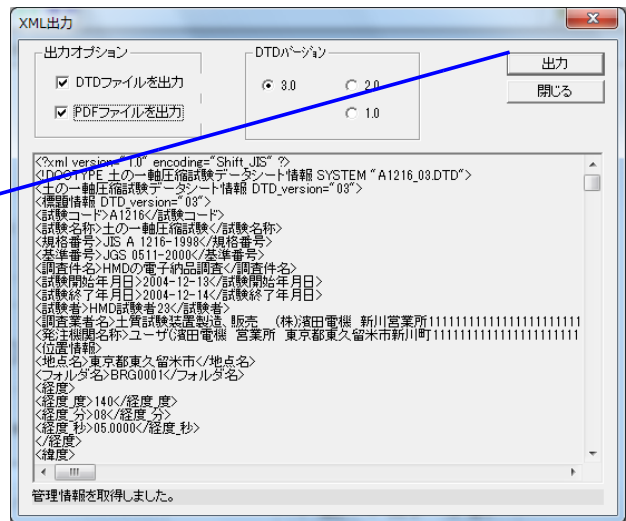
1. 調査件名
2. ボーリング番号
3. 試料番号

「概略の使用手法」 例：H1102 一軸試験

H1102 一軸試験解析ソフト



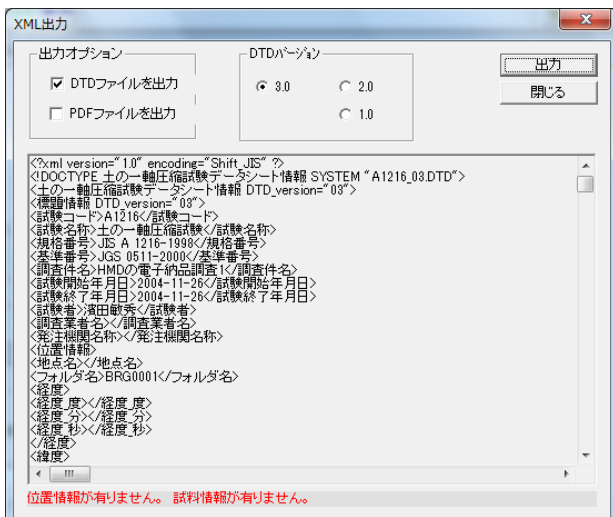
調査件名をHMD管理と全く同じ文字にします
試料番号をHMD管理と全く同じ文字にします
BRG番号をHMD管理の**ボーリング番号**にします



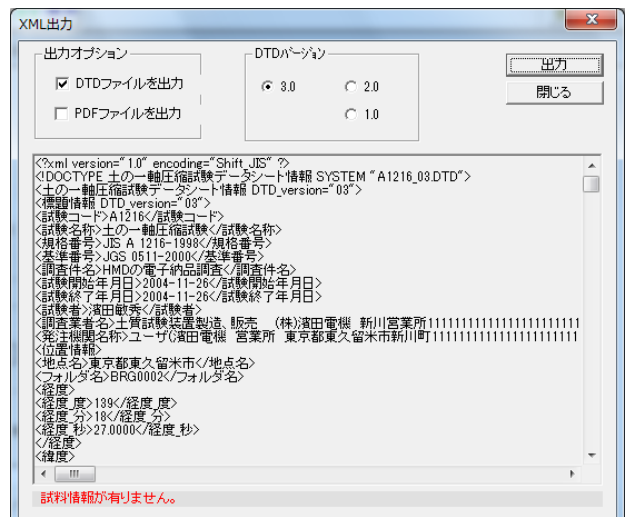
HMD管理の出力フォルダの¥TEST¥BRGxxxフォルダが
保存先として示されます。xxxは、BRG番号です

HMD管理とH1102の情報が全て合った時

HMD管理とH1102の情報が一部又は全部が合わなかった時



調査件名が違っている場合
ボーリング番号とBRG番号が違っている場合



試料番号が違っている場合

注！！ 上記の様なミスを起こさない為に、**調査件名、試料番号**はコピーする様にします。
以下の様な**調査件名、ボーリング名、試料番号**も同一チェックの対象になります。

1. 先頭及び最後のスペースも
2. 見えない"ctl"キーも

お問い合わせ

HMD解析ソフト電子納品取説

データカード/アップ/センサー/ソフト/計測システム/試験機/他



株式会社 **濱田電機**

TEL (042) 473-4041

FAX (042) 472-0089

Home Page <http://www.hmd-dk.jp>

営業所/〒203-0013 東京都東久留米市新川町2-4-5 メモリーマンション1F